



第134話 まんが：じっく JA園芸課開催「園芸だよ!全員集合」より③ 長期間、安定した収量・収益を 確保したい方にお薦めのピーマン



主人公の野原拓人さんは、実家の農地を守ろうと就農を決め、Uターンすることになりました。ワンストップ就農相談窓口で、品目選定に向け相談をしています。今回は、ピーマンの品目紹介です。

さっそくピーマンの作型から

JA職員

普及センター職員

当管内のピーマンは品質評価が高く価格も県平均を上回る高値で取引されます

今回もJAと普及センターの品目担当職員に話を伺いました

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	目標収量
①ハウス栽培	出荷ピーク								
	○4月上旬ごろ	★5月中旬～							8,000kg/10a
②露路栽培 (トンネル無し)		○5月下旬	★7月中旬～						6,000kg/10a

県南地域にそんな強みが!

岩手県

岩手県南の温暖な気候を生かした栽培で県内の他産地よりも長期間の収穫が可能だから一関地方のピーマン生産量は県内トップクラスさ

①ハウス栽培は天候に左右されることが少なく安定した収量が挙げられることと長期にわたり収穫が可能なおことから収益が確保できる作型だよ

②露路栽培は初期の投資が少なく済み栽培管理も比較的容易で取り組みやすい作型だね

他JAの若手生産者と交流を図りながら一致団結して頑張っています

生産も事業活動も魅力的だなあ

部会事業は指導会や目ざろえ会相互巡回の他担い手組織「ハッピーまん」では先進技術導入や品種・新規資材試験を目的とした実証圃の設置も活発です

規格ごとにコンテナに入れて出荷

スゴイロスまで軽減するなんて...!

出荷形態をバラ詰めや加工向けにも幅を広げ収穫したほぼ全量を出荷可能にしている!

収穫したピーマンは園芸センターで袋詰め機を利用して包装作業を行っているんだけど

袋詰めされたピーマン